

カキ

- ・うどんこ病は、平年比やや多い発生であった。
- ・落葉病、炭疽病、カキクダアザミウマは発生を認めなかった(平年並)。
- ・チャノキイロアザミウマは、平年比多い発生であった。
- ・カイガラムシ類は、果実調査では発生を認めなかった(平年並)が、
- ・ハダニ類は発生を認めなかった(例年並)。
- ・カメムシ類は、平年比やや多い発生であった。
- ・ハマキムシ類は、発生を認めなかった(例年並)。
- ・その他の病害虫は、③の新梢および調査外でクワシロカイガラムシの発生を認めた。

発生程度別基準

病害虫名	調査項目	無	少	中	多	甚
うどんこ病、落葉病	発病葉率(%)	0	1~10	11~30	31~50	51以上
炭疽病	発病新梢(果)率(%)	0	1~2	3~5	6~10	11以上
チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ ハマキムシ類 カメムシ類 カキノヘタムシガ カイガラムシ類	被害葉(果)率(%)	0	1~2	3~5	6~10	11以上
ハダニ類	寄生葉率(%)	0	1~15	16~30	31~45	46以上

カキ巡回調査結果(100葉、50果、50新梢調査)

調査日: 令和3年7月15日

	うどんこ病		落葉病		炭疽病			カキクダアザミウマ		チャノキイロアザミウマ		カイガラムシ類		ハダニ類		カメムシ類		ハマキムシ類		備考
	発病葉率(%)	発生ほ場率(%)	発病葉率(%)	発生ほ場率(%)	発病新梢率(%)	病果率(%)	発生ほ場率(%)	被害果率(%)	発生ほ場率(%)	被害果率(%)	発生ほ場率(%)	寄生果率(%)	発生ほ場率(%)	寄生葉率(%)	発生ほ場率(%)	被害果率(%)	発生ほ場率(%)	被害果率(%)	発生ほ場率(%)	
京都市西京区 ①	21.0		0.0		0.0	0.0		0.0		3.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
” ②	22.0		0.0		0.0	0.0		0.0		2.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
” ③	80.0		0.0		0.0	0.0		0.0		2.0		0.0		0.0		2.0		0.0		新梢および調査外でクワシロカイガラムシを確認
R3年	41.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	0.0	0.0	
平年比(例年比)	やや多	並	並	並	(並)	並	並	並	並	多	多	並	並	(並)	(並)	やや多	多	(並)	(並)	
平年(例年)	27.6	100.0	0.0	0.0	(0.0)	0.0	0.0	0.7	13.3	0.3	16.7	0.5	20.0	0.0	0.0	0.1	3.3	(0.0)	(0.0)	
R2年	25.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
R元年	25.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
H30年	29.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	66.7	2.0	66.7	0.0	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0	
H29年	27.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
H28年	18.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
H27年	31.7	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	5.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	
H26年	35.7	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	2.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	
H25年	49.3	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	
H24年	27.0	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	1.3	33.3	0.7	33.3	0.7	33.3	—	—	0.0	0.0	—	—	
H23年	6.7	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	